

2015年6月17日

各位

ユーピーアール株式会社

第26回電波功績賞「電波産業会会長賞」受賞

ユーピーアール株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 酒田義矢）はさる6月16日、日本電信電話株式会社やNTTエレクトロニクス株式会社、長野日本無線株式会社と共同で、一般社団法人電波産業会より第26回電波功績賞「電波産業会会長賞」を受賞致しました。

当社は、2012年にUHF帯域の周波数帯の規制が緩和されたことを受け、特定小電力無線規格（ARIB STD-T108 準拠）のアクティブRFIDを物流関連ビジネスに転用。具体的には物流用パレットにアクティブタグを実装しパレット管理を可能とした「スマートパレット」として開発しました。

電波功績賞は、総務省の外郭団体、一般社団法人電波産業会（ARIB：Association of Radio Industries and Business）が、電波の有効利用に関する調査、研究、開発において画期的かつ具体的な成果をあげた事業者あるいは電波を有効に利用した新しい電波利用システムの実用化に著しく貢献した法人に対し授与するものです。

受賞した「スマートパレット®」は、物流分野において920MHzアクティブRFIDを活用したクラウド型パレット管理システムで、世界で初めて実用化したものです。

■受賞理由

小電力無線分野において、920MHz帯小電力無線用RFIDを物流パレットに装着して迅速な移動管理、基地局当たり最大1万台のRFID収容、電池寿命約10年を同時に実現する高収容プロトコル技術を開発し電波の有効利用に大きく貢献した、とされています。

